

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	羽生市における循環のみちの実現											
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	羽生市											
計画の目標	下水道整備を行い、安心・安全、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,051	A	1,051	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	羽生市市内の汚水整備率を67.7%(H27)(405.9ha)から72.7%(H31)(435.9ha)に増加させる。現計画において30haの整備を行う。 羽生市市内の汚水整備率 整備済面積(ha)/事業認可面積(599.0ha)	67%	70%	72%
2	羽生市公共下水道に係る計画設計の見直し、整備方針を策定する。 計画設計の見直し、整備方針の策定 策定済/未策定	0%	100%	100%
3	羽生市雨水管理総合計画の策定 浸水対策の目標設定と事業計画への位置付け 策定/未策定	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	羽生市	直接	羽生市	管渠(汚水)	新設	羽生第2幹線・枝線整備事業	L=4,493m、実施設計、工事	羽生市						661	-		
	A07-002	下水道	一般	羽生市	直接	羽生市	管渠(汚水)	新設	羽生第2-1幹線整備事業	L=367m、実施設計、工事	羽生市							300	-	
	A07-003	下水道	一般	羽生市	直接	羽生市	管渠(汚水)	新設	羽生市公共下水道に係る計画設計	委託業務、見直し等計画策定	羽生市							50	-	
	A07-004	下水道	一般	羽生市	直接	羽生市	管渠(雨水)	-	羽生市雨水管理総合計画策定	計画策定	羽生市							40	-	
												小計							1,051	
												合計							1,051	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
羽生市下水道事業審議会において事後評価を実施	令和3年2月10日
	公表の方法
	告示版に掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（指標 ）当初一つであった整備計画を非重点と重点の2つに分けたため、非重点計画ではH29年度までの整備としています が、事後評価では、一つの計画として評価を行いました。H29末までの中間目標値70% 中間実績値70%</li> <li>・（指標 ）羽生市公共下水道に係る計画設計の見直し、整備方針の策定が完了しました。</li> <li>・（指標 ）羽生市雨水管理総合計画の策定が完了しました。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工延長については、羽生第2幹線・枝線整備事業は当初予定4,493m実績値4,821mで328m延びております。 羽生第2-1幹線整備事業は当初予定367m、実績値369mで2m延びております。</li> </ul>
特記事項（今後の方針等）	
指標 について、重点計画の計画区域は引き続き整備を進めています。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	72%
	最終実績値	73%
土地区画整理事業地内で土地の一带利用により整備面積が増えた。H29末中間目標値 70% H29末中間実績値 70%		
2	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
3	最終目標値	100%
	最終実績値	100%